

1. 裁断

(1) 裁断前の注意

ハードカバー

- 遠慮せずにカッターでカバーを切って、裁断機で切れそうなら残りは裁断機で切る。厚すぎるなど、裁断機で一気に切ることが難しそうならカッターで分解して裁断機で切れる厚さにする。

ソフトカバー

- 裁断機で裁断する。厚い場合にはカッターで分解して裁断機で切れる厚さにしてから切る。

表紙カバー

- 背表紙の横で切る。開き癖のしわを目印にすると裁断しやすい。

のど (冊子を開いた時に内側にあたる、中央の綴じ目が来る部分) まで絵があるもの

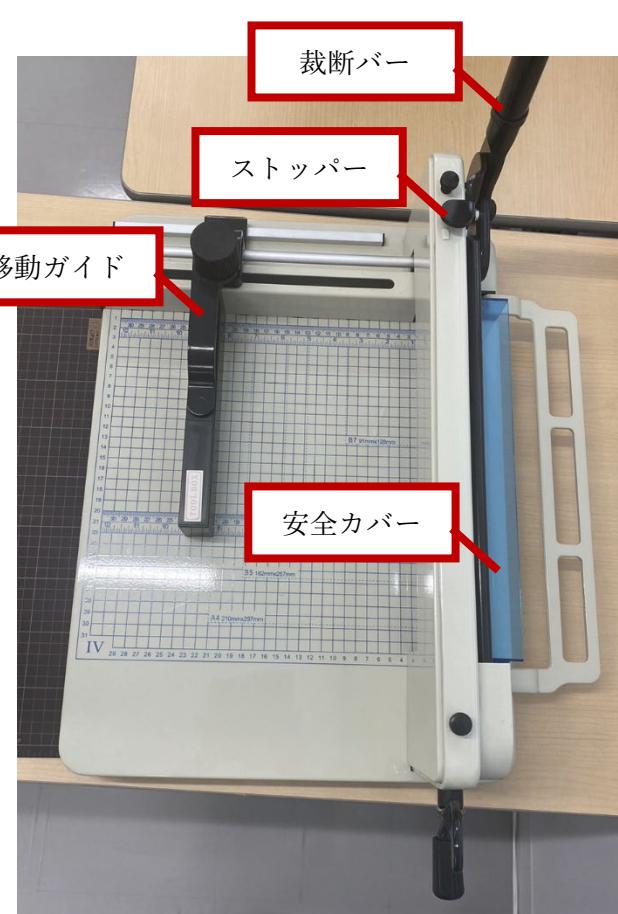
- 裁断機で切るとのど付近を切り落としてしまう危険がある。
数ページの塊が閉じられて本になっているので、のどまで絵があるページが含まれた塊の切れ目を探してカッターで切っていく。
この塊だけは裁断機で切らず、カッターで際を切る。

- ただし背にのりが付いたままだとスキャンで問題が発生しやすいのでのりは切り落とすようにする。

ホッチキス針

- これがあると裁断機で歯と接触したり、裁断の際の怪我に繋がったりして危ないのであるかどうか必ず確認！
雑誌などには針があることが多い。針があるところまでめくりあげ、カッターなどで抉り出す。

(2) 裁断機の使い方



① 裁断機に切斷する対象を置く。

この時以下のメモリを参考にすると良い。

② 移動ガイドを移動させ、対象が動かないように紙の端に揃える。

③ 安全カバーがしっかりと降りていることを確認する。

④ ストッパーを押さえて裁断バーを下ろしてくる。

⑤ 下ろしきる手前でストッパーを押していた手を離し、裁断する対象が動かないように押さえる。

⑥ 裁断バーを下ろしきり、対象を裁断する。

この時全て切り切れていないければもう一度裁断バーを下ろし、全てが切れたことを確認する。

⑦ 裁断バーを一番上まで上げ、きちんとストッパーが掛かり、バーが落ちてこないようになっていることを確認する。

⑧ ゴミなど片付ける。

2. スキャン

(1)準備

スキャン機器準備

- 紙同士がぴったりくっついてしまっていないか確認。
特に表紙や紙の質違うところはくっつきやすい。
- 背表紙のゴムやのりはエラー起こすので必ず取る。
- スキャナーセンサー汚れを確認。汚れていたら乾拭きで軽く拭いておく。

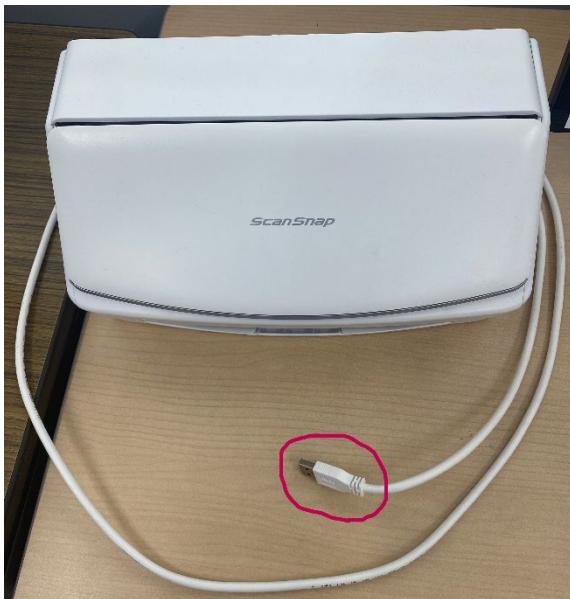
スキャン対象

- カバー、帯もスキャンしておくと良い。

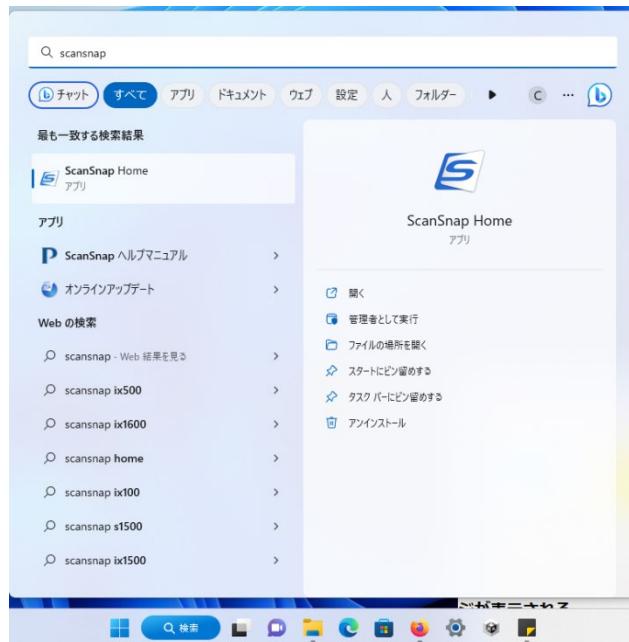
紙詰まり

- ツルツルした紙質のものは一気に読み取ると紙詰まりしやすい。一回あたりの量を減らすと良い。
- 背表紙を中心にのりがついていると紙詰まりするので、のりをとること。

(2) ScanSnap の使い方



- ① Scansnap のコードを使用する PC につなぐ。
Scansnap が使用できるのは digital1、digital3、digital4 の PC



- ② Scansnap Home を開く



③ まずは設定>環境設定



④ 環境設定>一般

画像のような設定になっているか確認。

特に保存されるフォルダを設定

*これはスキャンの時に「フォルダに保存」の
スキャン設定を選べば後からでも選択可能



⑤ 環境設定>言語

スキャンする対象に OCR をかけるために必要。

対象が日本語文書なら画像のように設定。



⑥ 設定>スキャン設定



⑦ スキャンの詳細な設定を行う。

PC 毎にアイコンの色が違うため使用している PC の色のアイコンから設定を進めること。

* digital1 : 青

* digital2 : オレンジ (画像のアイコン)

* digital3 : 緑



⑧ プロファイル編集からスキャンの詳細を確認

スキャン設定の全体を確認できる。

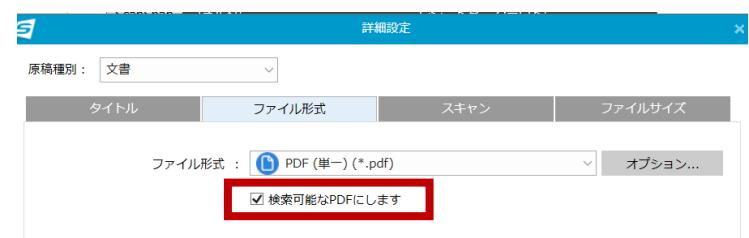
詳細設定 > ファイル形式を選択し、

● ファイル形式が PDF に成っていること

● 「検索可能な PDF にします」にチェックが入っていること

の 2 点を必ず確認。

特に「検索可能な PDF にします」にチェックが入っていないと、テキストが読み取られないで注意。





⑨ 色設定

自動設定でも問題ないが古い本だと地紙が黄色く読み取られる傾向にある。

その場合はグレー読み取り推奨。

また色が薄いがカラー読み取りにしたい場合は自分でカラーを選択した方が無難。



⑩ 読み取り面設定

本など紙の両面に読み取る対象がある場合は両面を、片面印刷のもの等片面にしか読み取り対象がないものは片面を選択する。



⑪ 画質設定

読み取りの画質を選択する。

ファイン以上を推奨、おすすめはスーパーファイン
ファイン:「カラー」または「グレー」の場合は 200dpi、白黒の場合は 400dpi

スーパーファイン:「カラー」または「グレー」の場合は 300dpi、白黒の場合は 600dpi

エクセレント:「カラー」または「グレー」の場合は 600dpi、白黒の場合は 1200dpi



⑫ フィード設定

継続スキャン推奨

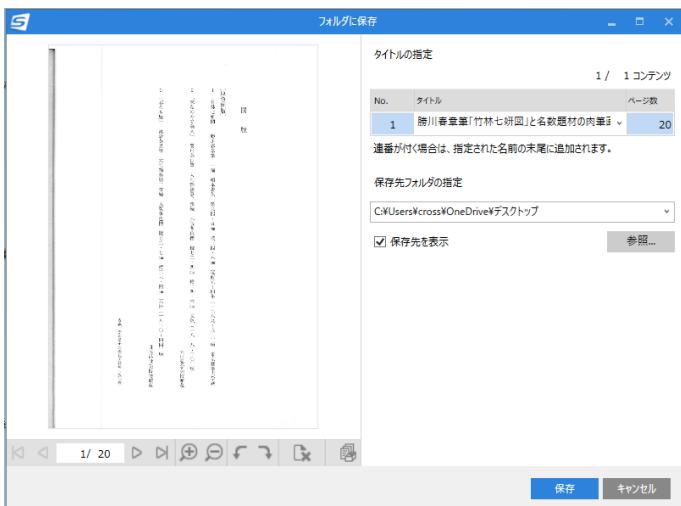


⑬ 読み取り対象をセットする。

スキャンは一番奥側のものから行われるため、最後の原稿の裏面が一番手前に来るよう置き、また上下も逆さまになるようすること。



⑭ 全て設定できたら中央の青い「Scan」ボタンを押して Scan スタート



⑮ フォルダ保存を選んだので、

スキャンしてから保存するフォルダを選ぶ